

研究に関するお知らせ

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行に伴う子どものメンタルヘルスへの支援体制に関する調査研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきます。不参加になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

2020年にCOVID-19の感染拡大に伴い、わが国では初の全国一斉休校が開始となりました。外出ができない子どもたちが自宅に閉居し、そのメンタルヘルスに不調をきたしているというニュースに溢れています。しかしながら、その実態は不明です。実際にCOVID-19による精神科医療への影響はすでに指摘されています。例えば、災害後には職を失った父親による家庭内暴力や児童虐待が増えるという指摘もあり、わが国でもその可能性を想定しておく必要があります。また、インターネット依存やゲーム障害など、新たな問題が浮上してきている昨今でもあり、子どもたちが自宅に閉居してネットゲームばかりしていることについても指摘されることが多いです。

そのため、児童精神科外来通院患者の家族及び、県内の児童福祉・医療に関する専門機関を対象とした大規模な調査を行う必要があると考えています。そこで、インターネットを用いて児童精神科通院中の患者さんの保護者と、千葉県内の専門機関を対象として、COVID-19による感染拡大に対する緊急事態への影響を調査し、より具体的な防止策・治療法を検討していきたいです。

なお、アンケートは以下のQRコードからログインしてください。



■研究期間

倫理審査委員会承認後～2023年3月31日

■研究の対象となる方

倫理審査委員会承認後～2022年3月の期間で、児童精神科を受診した全患者の保護者が対象です。また、千葉県内の18歳未満の子どもに関わる専門機関（医療機関、福祉機関、教育機関、療育機関）も対象です。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に受診された保護者の皆様には、ご家族の就労状況、家族構成、子どもの診断、薬物療法の有無、支援を必要とする内容、睡眠時間、ゲーム時間、勉強時間、調査時点での問題点等を、研究に使用させていただきます。また、千葉県内の専門施設においては、支援体制とそ

の内容、調査時点での問題点を研究に使用させていただきます。アンケートに回答された時点で匿名化され、個人が特定されることはありません。データベースの使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■外部への試料・情報の提供

該当しません。

■研究組織

国立国際医療研究センター国府台病院 宇佐美 政英

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。)

■個人情報の開示に係る手続きについて

該当しません。

■当院の研究代表者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美 政英

■本研究全体の研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美 政英

■お問い合わせ先

実施機関名:国立研究開発法人国立国際医療研究センター

所属・役職:国府台病院児童精神科診療科長

担当者氏名:宇佐美 政英

電話番号: 047-372-3501 (代表) 受付日時: 平日8時30分から17時15分

研究に関するお知らせ

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行に伴う子どものメンタルヘルスへの支援体制に関する調査研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきます。不参加になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

2020年にCOVID-19の感染拡大に伴い、わが国では初の全国一斉休校が開始となりました。外出ができない子どもたちが自宅に閉居し、そのメンタルヘルスに不調をきたしているというニュースに溢れています。しかしながら、その実態は不明です。実際にCOVID-19による精神科医療への影響はすでに指摘されています。例えば、災害後には職を失った父親による家庭内暴力や児童虐待が増えるという指摘もあり、わが国でもその可能性を想定しておく必要があります。また、インターネット依存やゲーム障害など、新たな問題が浮上してきている昨今でもあり、子どもたちが自宅に閉居してネットゲームばかりしていることについても指摘されることが多いです。

そのため、児童精神科外来通院患者の家族及び、県内の児童福祉・医療に関する専門機関を対象とした大規模な調査を行う必要があると考えています。そこで、インターネットを用いて児童精神科通院中の患者さんの保護者と、千葉県内の専門機関を対象として、COVID-19による感染拡大に対する緊急事態への影響を調査し、より具体的な防止策・治療法を検討していきたいです。

なお、アンケートは以下のQRコードからログインしてください。



■研究期間

倫理審査委員会承認後～2023年3月31日

■研究の対象となる方

倫理審査委員会承認後～2022年3月の期間で、児童精神科を受診した全患者の保護者が対象です。また、千葉県内の18歳未満の子どもに関わる専門機関（医療機関、福祉機関、教育機関、療育機関）も対象です。

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に受診された保護者の皆様には、ご家族の就労状況、家族構成、子どもの診断、薬物療法の有無、支援を必要とする内容、睡眠時間、ゲーム時間、勉強時間、調査時点での問題点等を、研究に使用させていただきます。また、千葉県内の専門施設においては、支援体制とその内容、調査時点での問題点を研究に使用させていただきます。アンケートに回答された時点で匿名

化され、個人が特定されることはありません。データベースの使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■外部への試料・情報の提供

該当しません。

■研究組織

国立国際医療研究センター国府台病院 宇佐美 政英

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。)

■個人情報の開示に係る手続きについて

該当しません。

■当院の研究代表者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美 政英

■本研究全体の研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美 政英

■お問い合わせ先

実施機関名:国立研究開発法人国立国際医療研究センター

所属・役職:国府台病院児童精神科診療科長

担当者氏名:宇佐美 政英

電話番号: 047-372-3501 (代表) 受付日時: 平日8時30分から17時15分